2018.5.23

労働法制中央連絡会 mail news　　　　　　　　発行 全労連

■今日の採決は許さず！
～働き方改革一括法案

★官邸・与党への抗議メール・FAX を！
★過労死根絶・格差是正の署名集約を！ネット署名の賛同・拡散を！
★行動日程

■今日の採決は封じ込めた！
～働き方改革一括法案

◆「働き方改革一括法案」は、5 月 2 日に野党不在（維新除く）のまま、審議入りしました。以降、9 日、11 日、16 日、18 日と審議を進め、22 日には参考人質疑、そして今日 23 日は安倍首相出席のもとでの質疑の場が設けられました。

8 本もの法案を一括し、多くの論点があるこの法案。
なかでも、労働基準法に大穴をあける「高度プロフェッショナル制度」については、野党の質問によって過労死促進間違いなしの穴だらけの欠陥法であることがわかってきました。

また、労働時間法制の見直しを検討する前提となる実態把握のための統計データに異常値が２割も含まれていて、それを取り除くと、当初の集計とはまったく別の結果となることも判明しました。

※政府は「2 割削除してもサンプルが多数あるから影響がない」などと答弁していましたが、実際には特別条項付き 36 協定のもとで働く一般労働者のケースでみて、1 年の時間外労働が 1000 時間を超える人が、異常値含みのデータでは 3.9%だったものが、異常値を除くとこれが 48.5%に、平均値 467 時間が、888 時間に跳ね上がっていました。

そもそも立法事実がでたらめであったこと、その上、つくられた法案にも政府が想定していない悪用を許す瑕疵があることがわかったわけですから、法案はいったんひっこめるのが当然です。
ところが、政府・与党は法案の慎重な審議も修正も出し直しもせず、衆院段階では 35 時間で審議打ち切りなどと一方的に決めつけ、今日 23 日には採決の構えをみせていました。

◆山場を迎えた 23 日午後の厚生労働委員会には、様々な労働団体の組合員や、過労死を考える家族の会の方々が駆け付け、傍聴席はあふれかえりました。野党議員は、傍聴席に並ん

だ過労死家族の会の意向を質問に取り入れ、安倍首相に対し、「法案採決の前に少しでもいいから、ご家族と面会を！過労死・過労自死で残されたひとたちの悲痛な思いを知ってほしい」と迫りました。

しかし、安倍首相は「この課題の担当である加藤厚労相にまかせている」と繰り返し、頑なに面会を拒否。固唾をのんで審議を見守っていた傍聴席からは、大きなため息と抗議の声があがりました。

さらに続けて安倍首相は、「高プロによって過労死が増えるかのようにいうが、そんなことはない」と断言。この場面では、議場は大きなどよめきに包まれ、「まったくわかっていない」「これまでの質疑を確認していないのか」といった怒りの声があがりました。
傍聴に入れず衆議院議員面会所に詰めていた人々の間からも「なにをいっているんだ！」と声があがりました。

◆14 時半頃から、ラストバッターをつとめる共産党の高橋千鶴子議員の質問が始まりました。高橋議員は「首相に、聞きたい。参考人でも推進すべきとの意見はなかった。経団連も妥当という程度。主要企業に対する調査でも賛成は 28%にすぎない。全ての労働団体が反対し、これだけの傍聴者が反対している。誰のための高プロ導入か。」と迫りました。

これに対し、首相は「やりたくない企業や労働者はやらない。しかし、時間ではなく成果で働きたい人もおられるのは事実」などと、多くの賛同がないことを認めながら、証拠もあげずにニーズがあると強弁。
さらに「9 時・5 時の時間にしばられず、自分にあったペースで働き、創造性を発揮できる。短時間で仕事が仕上がれば、余暇を楽しみ、チャレンジもできる。高い交渉力をもっている高度専門職の方々が、自立的な働き方をする選択肢をつくる」などと答弁しました。

高橋議員は成果に応じた報酬など法案はなんら保障していないことや、労働者は業務量をコントロールできず、長時間労働となるのは不可避であることなどを指摘して、政府の説明の破綻を論証。過労死を考える家族の会の方々が提供している事案の中には、高度プロに通じる働き方をして亡くなった方もいることを紹介し、会の面談要望に首相は応えるべきであること、さらには徹底審議をすることを、再三求めて質問を終えました。

◆高橋議員の質問の後段のタイミングで、野党は、高鳥委員長に対する解任決議を提出。
そこで委員会はストップし、採決に入ることなく休憩、そして休会となりました。

政府・与党は日程ありきで時間を消化し、まさに採決にうつろうとしていた場面でしたが、今日のところは、それを止めることができました！これは、この間の私たちの運動の成果です。各地の仲間による地元議員要請は野党を激励し、与党に圧力を与えています。過労死を考える家族の会との共同行動や、労働弁護団を軸に系統を超えた労働団体が集まった 5.22

日比谷野音集会・請願デモなどは、マスコミにも取り上げられ、与党に対してあまりに強行な姿勢はまずい・・・と思わせるインパクトを与えています。

しかし、今日 23 日の採決強行は飛ばしましたが、緊迫した情勢は続きます。
今後はどうなりそうか。以下はあくまでも想定ですが；

明日 24 日は本会議で厚労委委員長の解任決議は否決され、25 日（金)、再度、厚生労働委員会が開催される見通しです。
25 日の日程は発表されていませんが、与党は残り 1 時間半の法案審議を主張しているそうです。

可能性としては、25 日朝 9 時からの委員会開催となり、もしかすると与党が速攻で採決の動議をかけるかもしれません。

そこをしのいで、野党は厚生労働大臣不信任決議を提出する構えです。そうなれば、委員会は再度ストップします。

しかし、午後に本会議が開かれて不信任決議が否決されると、夕方に再度、厚生労働委員会が再開され、そこで採決の動きがでてくる可能性があります。

◆全労連・国民春闘共闘の５．２５中央行動、雇用共同アクションの５．２５昼の国会アクションは、こうしたきわめて重要な場面で行われます。

夕方の委員会の動き次第では、議員要請行動と並行で、もしくは要請後に衆議院厚生労働委員会の傍聴に皆で駆け込み、強行採決などゆるさないムードで委員会をあふれさせる緊急の行動提起をさせていただくことになるかもしれません。

情勢は流動的で、いまから確定した行動提起をすることは困難ですが、25 日のこうした動きに対応できる方は、積極的なご参加をお願いいたします。

★与党への抗議メール・FAX を！

◆安倍「働き方改悪一括法案」は衆議院で明後日にも採決か？といわれる場面となっています。強行採決阻止、高プロを廃案に！職場のみなさんの声を与党とにぶつけましょう。

●添付の要請書を参考に FAX 要請
安倍内閣総理大臣、加藤厚労大臣に要請
首相官邸 FAX 03-3581-3883
加藤厚労大臣 議員室 FAX 03-3508-3289

自由民主党本部 FAX 03-5511-8855

●メールなどでの要請

「強行採決反対！徹底審議を！加藤大臣は誠意をもって答弁を！」
「過労死促進の『高度プロ』は廃案に！」
「同一労働・格差容認の法整備は約束違反！同じ仕事なら同じ賃金を！非正規雇用の処遇を改善せよ！」
「雇用対策法の改悪反対！労働強化・リストラ促進するな！雇用されない働き方を普及するな！」

◇首相官邸（ご意見募集）
https://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken_ssl.html

◇自由民主党本部 〒100-8910 東京都千代田区永田町 1-11-23
https://www.jimin.jp/voice/
（ホームページ上で書き込み）

◇公明党
https://www.komei.or.jp/contact/
（ホームページ上で書き込み）

★過労死根絶・格差是正の署名集約を！ネット署名の賛同・拡散を！

◆請願署名の集約
「過労死と職場における差別の根絶を求める国会請願署名」については、会期末に向けて集約を急いでいます。
・目標：全組合員規模
・集約：第 3 次 5 月 22 日（火） ⇒ 5 月 25 日中央行動で提出
第 4 次 6 月 4 日（月）全労連着 ⇒ 6 月 6 日国会行動で提出
最終 6 月 6 日（水）全労連必着 ⇒ 6 月 8 日国会提出

（2）ネット署名（ネット・キャンペーン）の取り組み
・「高プロ廃案要求署名」を 5 月 15 日から開始。これまでに 8 千人近くが賛同してくれています。危機感と怒りにあふれたコメントも多数ついています。
コチラから↓
https://bit.ly/2IiSgs3

１）まずは賛同を。知り合いにも広げてください。
２）コメントを書き込んでください。
３）他の人のコメントを読んで、共鳴できるものにはハートマークにクリックを。
フェイスブックやツイッターでシェアして、拡散してください。

★行 動

◆５．２５中央行動 ～安倍改憲 NO!労働法制改悪阻止・第 1 次最賃デー主催：全労連・国民春闘共闘・東京春闘共闘・国民大運動・食健連
日時：5 月 25 日(金) 早朝宣伝から夕方国会議員要請行動まで終日行動
場所：主要ターミナル宣伝、霞が関、国会規模：1000 人以上
内容：

8：30～9：30 早朝宣伝「労働法制改悪反対、最賃大幅改善、モリカケ疑惑徹底究明」
新宿、池袋、東京駅丸の内北口（～9：10)、東京労働局前（8：15～9：15）

12：00～12：30 賃下げなしの定年延長実現！臨時・非常勤職員の待遇改善！人事院前要求行動

12：30～13：00 労働法制改悪反対！全国一律最賃制度確立、すぐに 1000 円以上実現、公務員賃金改善！
厚労省要求行動

※12：15～13：00 雇用共同アクション・国会前アクション
「働き方改革一括法案」強行採決反対！高度プロは廃案に！過労死ラインの残業上限反対！行動
（衆院第 2 議員会館前）

13：15～14：15 国会請願デモ

14：00～14：30 国会前緊急抗議／要求行動（衆院第 2 議員会館前）

14：30～15：00 院内集会・意思統一集会

15：15～　国会議員要請行動
※16 時以降（時間未定）衆議院厚生労働委員会が再開された場合、傍聴行動実施 ※グリーンウェーブ終結行動、全労連非正規センター厚労省要請行動（最賃・均等待遇）あり。

◆街頭宣伝

「高プロ撤回！『働き方改悪一括法案』の強行採決反対！本物の改革の実現を！」と呼びかける宣伝を、各地域で展開してください。

※お送りしてあるチラシ版下を使って、各地での宣伝行動を強めてください。
全労連ホームページに掲載
http://www.zenroren.gr.jp/jp/housei/index.html

以上

_/
発 行労働法制中央連絡会・事務局長
伊藤
tel 03-5842-5611　fax03-5842-5620
〒113-8462
文京区湯島２－４－４ 全労連会館４Ｆ
kh@zenroren.gr.jp
_/